

当院および以下の機関で脳卒中に対する治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2011年1月～2024年7月の間に、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）で入院し、治療を受けた方

【研究課題名】脳卒中後てんかん発症の関連因子に関する後方視的研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 脳神経内科 部長 猪原匡史

【研究の目的・意義】この研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、てんかん発症に関連する因子を明らかにすることを目的としています。この研究の成果は、将来的にてんかんに対する新規治療に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、病歴、血液検査、頭部画像検査、脳波検査、治療内容、経過

【情報の管理責任者】国立循環器病研究センター 理事長

【研究の実施体制】

この研究の実施体制は以下のとおりです。

研究代表者

国立循環器病研究センター 脳神経内科 部長 猪原匡史

共同研究機関・研究責任者

University Hospital Zurich（スイス連邦）臨床神経学 部長 Marian Galovic

【外部機関への情報等の提供】

この研究で収集した情報の一部を、以下の機関と共有し、共同で研究を行います。共有する際は、あなたのお名前等は削除し、個人が直接特定できないようにします。

共同研究機関：University Hospital Zurich（スイス連邦）

研究責任者：Marian Galovic

提供項目：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、病歴、血液検査、頭部画像検査、脳波検査、治療内容、経過

提供方法：国立循環器病研究センターのクラウドストレージ、保存した電子媒体の郵送・配達、又はセキュリティ対策が施され特定の関係者しかアクセスできない状態での電子的配信

提供先の個人情報保護に関する情報

スイス連邦における個人情報の保護に関する制度について

スイス連邦には個人情報保護制度があります。また、スイス連邦は、十分な水準の個人情報保護を保障している国として、EU（欧州連合）の認定を受けています。

【研究期間】研究許可日より2030年12月31日まで（予定）

情報の利用または提供を開始する予定日：2024年8月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センターホームページ（<https://www.ncvc.go.jp/hospital/pub/clinical-research/untersuchung/untersuchung10/>）に掲載しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、倫理審査委員会の承認と、研究機関の長の許可を受けて実施します。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 脳神経内科 福間一樹、田中智貴

電話 電話番号 06-6170-1070（内線 40539）